



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月4日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社
 コード番号 4095 URL <https://www.parker.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 佐藤 乾太郎
 (氏名) 田村 裕保

TEL 03-3278-4333

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	92,238	10.6	13,198	△6.4	15,736	△5.7	9,785	△5.9
2018年3月期第3四半期	83,433	9.3	14,103	18.8	16,690	26.7	10,403	24.5

(注)包括利益 2019年3月期第3四半期 6,121百万円 (△66.9%) 2018年3月期第3四半期 18,484百万円 (242.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	80.64	—
2018年3月期第3四半期	85.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	220,715	166,166	63.3	1,151.88
2018年3月期	219,988	163,255	62.9	1,140.28

(参考)自己資本 2019年3月期第3四半期 139,767百万円 2018年3月期 138,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00
2019年3月期	—	11.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当11円00銭 記念配当2円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,500	1.4	18,200	1.2	20,600	△0.7	12,600	△1.0	103.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 日照パーカー表面処理有限公司、除外 1 社 (社名) パーカー興産(株)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	132,604,524 株	2018年3月期	132,604,524 株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	11,266,208 株	2018年3月期	11,272,204 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	121,337,568 株	2018年3月期3Q	121,335,199 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

当第3四半期より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しています。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	7
	四半期連結包括利益計算書	8
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
	(会計方針の変更)	9
	(重要な後発事象)	10
	(追加情報)	10
	(セグメント情報等)	11
3.	補足情報	12
	(1) 四半期毎の業績の推移(連結)	12
	(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	13
	(3) 四半期毎の業績の推移(提出会社個別)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2018年4月1日から2018年12月31日まで)におけるわが国経済は、堅調な設備投資や雇用環境の改善が続くなど緩やかな回復基調となりました。一方、世界経済においては、米中の貿易摩擦問題の拡大や金融資本市場の変動による影響など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、主要な供給先であります自動車業界では、国内の自動車生産は伸び悩んでおり、中国をはじめ海外においても成長が鈍化しております。もう一つの柱である鉄鋼業界では、国内の鋼材需要は堅調に推移しておりますが、中国では調整局面を迎えております。

このような状況のなか、当社グループでは、当連結会計年度を最終年度とする第2次中期経営計画のもと、「事業基盤の強化・拡大」、「技術立社」、「企業体質の基盤強化」を三本柱に既存分野の更なる深耕、新規事業分野への積極的なチャレンジを推進しております。また、お客様満足度を高める迅速で的確なサービスと高品質製品供給のために、グローバルな品質改善活動と開発体制強化に努めております。

この結果、当第3四半期の連結業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期累計期間 (2019年3月期)	92,238	13,198	15,736	9,785
前第3四半期累計期間 (2018年3月期)	83,433	14,103	16,690	10,403
増減金額	8,805	△904	△954	△618
増減率	10.6%	△6.4%	△5.7%	△5.9%

売上高は92,238百万円と前第3四半期累計期間(以下、前期)に比べ8,805百万円(10.6%)の増収となりました。国内及び海外においては中国で設備物件の検収があがり増収で推移いたしました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前期に比べ薬品事業が4.4%、装置事業が46.4%、加工事業が4.1%、その他が4.3%とすべてのセグメントにおいて増収で推移しております。また、地域別セグメントは、国内が8.5%、アジアが15.9%、欧米が2.5%の増収で推移しております。(セグメントの増減率は外部顧客売上高を基礎にしております。)

営業利益は13,198百万円と前期に比べ△904百万円(△6.4%)の減益となりました。売上総利益は32,836百万円と前期に比べ115百万円(0.4%)の増益に留まり、**販売費及び一般管理費**は19,638百万円と連結子会社の増加もあり前期に比べ1,020百万円(5.5%)増加いたしました。この内訳は人件費が2.1%、経費が10.6%それぞれ増加いたしました。

経常利益は15,736百万円と前期に比べ△954百万円(△5.7%)の減益となりました。**営業外の収支**は2,537百万円の収入となり、前期に比べ△49百万円減少いたしました。この結果、当第3四半期累計期間の**総資産経常利益率(ROA)**は7.1%(年換算9.5%)と前期に比べ1.1ポイント減少いたしました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は9,785百万円と前期に比べ△618百万円(△5.9%)の減益となりました。この結果、当第3四半期累計期間の**自己資本利益率(ROE)**は7.0%(年換算9.4%)と前期に比べ1.0ポイント減少いたしました。

【為替の影響額】

海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で102百万円程度の増収、営業利益で△2百万円程度の減益となっております。

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益)			
	前第3四 半期累計	当第3四 半期累計	増減額	増減率	前第3四 半期累計	当第3四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	34,363	35,882	1,519	4.4%	7,418	6,629	△789	△10.6%
装置事業	12,427	18,190	5,762	46.4%	781	600	△180	△23.1%
加工事業	33,270	34,650	1,379	4.1%	6,722	6,722	0	0.0%
その他	3,371	3,515	143	4.3%	144	157	12	8.8%
調整額(消去)	—	—	—	—	△964	△912	51	—
連結損益計算書計上額	83,433	92,238	8,805	10.6%	14,103	13,198	△904	△6.4%

① 薬品事業

外部顧客に対する売上高は35,882百万円と前期に比べ1,519百万円(4.4%)の増収となり、営業利益は6,629百万円と△789百万円(△10.6%)の減益となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性、耐摩耗性、潤滑性など機能性向上を目的とする化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。金属表面処理剤の販売は伸び悩んでおりますが、国内では連結子会社の増加により増収となりました。収益面では原材料費の高騰や国内子会社の吸収合併による統合費用等の影響を受け、減益で推移いたしました。

② 装置事業

外部顧客に対する売上高は18,190百万円と前期に比べ5,762百万円(46.4%)の増収となり、営業利益は600百万円と△180百万円(△23.1%)の減益となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しております。国内では増収増益で推移いたしましたが、中国では大幅に増収となる一方で収益率は低下し減益で推移いたしました。

③ 加工事業

外部顧客に対する売上高は34,650百万円と前期に比べ1,379百万円(4.1%)の増収となり、営業利益は6,722百万円と前期と同水準となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。国内では自動車部品における加工処理の需要増加により、防錆・熱処理加工ともに順調に推移いたしました。海外では前期後半以降、メキシコの新工場が順調に稼動しております。収益面では米国や中国で設備改修のための一時的な費用が発生したこともあり、収益率が低下いたしました。

④ その他

外部顧客に対する売上高は3,515百万円と前期に比べ143百万円(4.3%)の増収となり、営業利益は157百万円と12百万円(8.8%)の増益となりました。当事業部門は、為替の影響を受けない国内を中心に、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを営んでおります。

【投資情報】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間
減価償却費(有形固定資産)	3,865	4,236
設備投資額(有形固定資産)	5,829	6,618
研究開発費	1,728	1,604
有利子負債	3,445	2,799

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比較し 727 百万円増加し 220,715 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動資産では受取手形及び売掛金が 917 百万円、たな卸資産が 2,736 百万円、前渡金などにより流動資産その他が 1,945 百万円それぞれ増加いたしました。固定資産では有形固定資産 1,557 百万円増加した一方で、投資有価証券の時価の減少などにより投資その他の資産が△6,301 百万円減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し△2,183 百万円減少し 54,548 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動負債では支払手形及び買掛金が 2,865 百万円増加した一方で、未払法人税等が△1,107 百万円、賞与引当金が△1,240 百万円それぞれ減少いたしました。固定負債では繰延税金負債などにより固定負債その他が△2,411 百万円減少いたしました。

非支配株主持分を含めた**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し 2,910 百万円増加し 166,166 百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金が 6,816 百万円、非支配株主持分が 1,495 百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金と為替換算調整勘定の減少などにより、その他の包括利益累計額が△5,409 百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は 63.3%と前連結会計年度末と比較し 0.4 ポイント増加するとともに、1 株当たり純資産は 1,151 円 88 銭と 11 円 60 銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019 年 3 月期の業績予想につきましては、当第 3 四半期累計期間の業績は計画の範囲内で推移しているものと判断し、2018 年 5 月 14 日に発表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

【通期連結業績 (2019 年 3 月期) の見通し】

(単位：百万円)

	2019 年 3 月期 (予想)	前期比	進捗率 (第 3 四半期)
売上高	116,500	1.4%	79.2%
営業利益	18,200	1.2%	72.5%
経常利益	20,600	△0.7%	76.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	12,600	△1.0%	77.7%

(通期予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,673	55,867
受取手形及び売掛金	39,980	40,898
有価証券	1,632	1,293
商品及び製品	2,725	2,915
仕掛品	1,907	4,358
原材料及び貯蔵品	4,598	4,693
その他	3,572	5,518
貸倒引当金	△167	△165
流動資産合計	109,921	115,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,443	21,756
機械装置及び運搬具（純額）	16,621	16,934
土地	16,139	16,174
建設仮勘定	4,615	4,614
その他（純額）	2,077	1,975
有形固定資産合計	59,897	61,455
無形固定資産	1,390	1,403
投資その他の資産		
投資有価証券	37,397	31,532
退職給付に係る資産	104	84
その他	11,371	10,956
貸倒引当金	△96	△96
投資その他の資産合計	48,777	42,476
固定資産合計	110,066	105,335
資産合計	219,988	220,715
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,201	24,067
短期借入金	190	100
1年内返済予定の長期借入金	1,271	837
未払法人税等	2,474	1,367
賞与引当金	2,578	1,337
その他	12,179	12,508
流動負債合計	39,895	40,217
固定負債		
長期借入金	1,601	1,339
退職給付に係る負債	9,491	9,659
その他	5,742	3,331
固定負債合計	16,836	14,330
負債合計	56,732	54,548

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	4,286	4,286
利益剰余金	122,455	129,271
自己株式	△7,539	△7,531
株主資本合計	123,762	130,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,943	8,419
繰延ヘッジ損益	3	3
為替換算調整勘定	1,693	797
退職給付に係る調整累計額	△50	△39
その他の包括利益累計額合計	14,589	9,179
非支配株主持分	24,902	26,398
純資産合計	163,255	166,166
負債純資産合計	219,988	220,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	83,433	92,238
売上原価	50,711	59,401
売上総利益	32,721	32,836
販売費及び一般管理費	18,618	19,638
営業利益	14,103	13,198
営業外収益		
受取利息	159	185
受取配当金	556	659
受取賃貸料	302	356
持分法による投資利益	917	897
為替差益	312	83
その他	564	763
営業外収益合計	2,813	2,946
営業外費用		
支払利息	34	68
その他	191	340
営業外費用合計	225	408
経常利益	16,690	15,736
特別利益		
固定資産売却益	20	44
投資有価証券償還益	70	-
その他	-	0
特別利益合計	90	44
特別損失		
固定資産除売却損	76	100
環境対策費	14	-
その他	9	0
特別損失合計	100	100
税金等調整前四半期純利益	16,680	15,679
法人税等	4,337	3,925
四半期純利益	12,342	11,753
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,938	1,968
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,403	9,785

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	12,342	11,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,300	△4,513
為替換算調整勘定	663	△892
退職給付に係る調整額	13	11
持分法適用会社に対する持分相当額	164	△238
その他の包括利益合計	6,141	△5,632
四半期包括利益	18,484	6,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,130	4,460
非支配株主に係る四半期包括利益	2,353	1,661

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

税効果会計に係る会計基準の適用指針の適用

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これにより個別財務諸表における子会社株式等に係る将来加算一時差異の取扱いを、連結財務諸表における子会社株式又は関連会社に対する投資に係る将来加算一時差異の取扱いに合わせ、繰延税金負債の取崩しを行いました。

なお、当該変更に伴う影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2019年2月4日開催の取締役会において、下記の通り、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

また、併せて会社法第163条の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、連結子会社である浜松熱処理工業株式会社が有する自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

I.自己株式の取得(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)

- | | |
|---------------|---|
| ①自己株式の取得を行う理由 | 株主還元及び資本効率の向上と、経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の遂行を図るため。 |
| ②取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ③取得し得る株式の総数 | 1,000,000株(上限) |
| ④株式の取得価格の総額 | 1,200,000,000円(上限) |
| ⑤自己株式の取得期間 | 2019年2月5日～2019年4月30日 |
| ⑥取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

II.自己株式の取得(会社法第163条の規定に基づく子会社からの自己株式の取得)

- | | |
|---------------|---|
| ①自己株式の取得を行う理由 | 会社法第135条第3項の規定により、子会社が保有する当社普通株式を取得するため。 |
| ②取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ③取得する株式の総数 | 618,076株 |
| ④株式の取得価格の総額 | 788,664,976円 |
| ⑤自己株式の取得日程 | 2019年2月4日(売買契約締結日)
2019年2月15日(権利移転予定日) |
| ⑥取得方法 | 相対取引 |

なお、取得する株式のうち、当社の持分相当分については、当第3四半期連結会計期間末における連結貸借対照表の純資産の部に自己株式として計上しております。

(追加情報)

『「税効果会計に係る会計基準」の一部改正』等の適用

『「税効果会計に係る会計基準」の一部改正』(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	34,363	12,427	33,270	80,061	3,371	83,433	—	83,433
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	906	356	46	1,309	864	2,173	△2,173	—
計	35,269	12,784	33,317	81,371	4,235	85,606	△2,173	83,433
セグメント利益又は 損失(△)	7,418	781	6,722	14,922	144	15,067	△964	14,103

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△964百万円には、セグメント間取引消去262百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,226百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	35,882	18,190	34,650	88,723	3,515	92,238	—	92,238
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	795	427	31	1,254	971	2,226	△2,226	—
計	36,677	18,617	34,681	89,977	4,487	94,464	△2,226	92,238
セグメント利益又は 損失(△)	6,629	600	6,722	13,952	157	14,110	△912	13,198

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△912百万円には、セグメント間取引消去320百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,233百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移 (連結)

2019年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	2018年4月～6月	2018年7月～9月	2018年10月～12月	2019年1月～3月	2018年4月～2019年3月
売上高	28,091	31,896	32,251		92,238
売上総利益	10,517	10,867	11,451		32,836
営業利益	3,998	4,197	5,002		13,198
経常利益	5,066	4,979	5,690		15,736
税金等調整前当期純利益	5,043	4,949	5,687		15,679
親会社株主に帰属する当期純利益	2,829	3,184	3,771		9,785
総資産	218,642	220,088	220,715		—
純資産	161,987	165,729	166,166		—

2018年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	2017年4月～6月	2017年7月～9月	2017年10月～12月	2018年1月～3月	2017年4月～2018年3月
売上高	25,641	27,824	29,967	31,406	114,840
売上総利益	10,521	10,588	11,611	10,476	43,197
営業利益	4,331	4,331	5,439	3,881	17,984
経常利益	5,094	5,298	6,297	4,059	20,750
税金等調整前当期純利益	5,100	5,275	6,303	4,060	20,740
親会社株主に帰属する当期純利益	2,955	3,414	4,033	2,317	12,721
総資産	196,545	204,738	211,629	219,988	—
純資産	149,106	155,844	161,781	163,255	—

2017年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	2016年4月～6月	2016年7月～9月	2016年10月～12月	2017年1月～3月	2016年4月～2017年3月
売上高	24,714	25,784	25,853	33,217	109,569
売上総利益	9,603	9,874	10,223	11,574	41,275
営業利益	3,794	3,691	4,389	5,059	16,934
経常利益	3,868	3,865	5,434	5,610	18,779
税金等調整前当期純利益	3,844	3,828	5,479	6,641	19,793
親会社株主に帰属する当期純利益	2,327	2,424	3,602	3,874	12,228
総資産	183,478	184,466	188,604	197,260	—
純資産	136,265	135,991	137,483	146,502	—

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を適用前の数値です。

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失(△)			
		前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	21,204	22,563	1,358	6.4%	4,204	3,631	△ 573	△13.6%
	アジア	12,533	12,684	151	1.2%	2,606	2,327	△ 278	△10.7%
	欧米	625	634	9	1.5%	186	207	21	11.4%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	906	795	△ 111	△12.3%	421	462	41	9.7%
	計	35,269	36,677	1,408	4.0%	7,418	6,629	△ 789	△10.6%
装置 事業	日本	6,169	8,178	2,009	32.6%	△ 13	168	181	—
	アジア	6,226	10,011	3,784	60.8%	618	232	△ 385	△62.4%
	欧米	31	—	△ 31	—	△ 5	△ 15	△ 10	△193.7%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	356	427	71	20.0%	182	215	33	18.4%
	計	12,784	18,617	5,833	45.6%	781	600	△ 180	△23.1%
加工 事業	日本	19,831	20,626	794	4.0%	4,158	4,333	175	4.2%
	アジア	8,622	9,047	424	4.9%	1,996	1,766	△ 229	△11.5%
	欧米	4,816	4,976	159	3.3%	457	519	61	13.4%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	46	31	△ 15	△33.0%	110	103	△ 6	△5.8%
	計	33,317	34,681	1,363	4.1%	6,722	6,722	0	0.0%
報告セグメント計		81,371	89,977	8,606	10.6%	14,922	13,952	△ 969	△6.5%
その 他	日本	3,303	3,450	147	4.5%	188	163	△ 24	△13.2%
	アジア	68	65	△ 3	△4.6%	△ 43	△ 6	37	86.0%
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	864	971	107	12.5%	0	0	0	—
	計	4,235	4,487	251	5.9%	144	157	12	8.8%
合計		85,606	94,464	8,858	10.3%	15,067	14,110	△ 956	△6.3%
調整額		△ 2,173	△ 2,226	△ 52	△2.4%	△ 964	△ 912	51	5.4%
連結損益計算書計上額		83,433	92,238	8,805	10.6%	14,103	13,198	△ 904	△6.4%

所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	53,879	58,492	4,613	8.6%	8,679	8,464	△ 215	△2.5%
アジア	27,499	31,916	4,416	16.1%	5,184	4,322	△ 862	△16.6%
欧米	5,480	5,625	144	2.6%	638	711	72	11.3%
合計	86,859	96,034	9,174	10.6%	14,503	13,498	△ 1,004	△6.9%
調整額	△ 3,426	△ 3,795	△ 369	△10.8%	△ 400	△ 299	100	25.0%
連結損益計算書計上額	83,433	92,238	8,805	10.6%	14,103	13,198	△ 904	△6.4%

(3) 四半期毎の業績の推移 (提出会社個別)

2019年3月期 (提出会社個別)

(単位: 百万円)

	第1四半期 2018年4月～6月	第2四半期 2018年7月～9月	第3四半期 2018年10月～12月	第4四半期 2019年1月～3月	通算 2018年4月～2019年3月
売上高	11,420	12,764	13,505		37,690
売上総利益	4,307	4,229	4,945		13,482
営業利益	1,333	1,162	1,837		4,333
経常利益	2,344	1,944	2,209		6,499
税金等調整前当期純利益	4,410	1,925	2,199		8,535
当期純利益	3,484	1,521	1,737		6,742
総資産	115,870	120,009	114,204		—
純資産	77,390	84,599	81,267		—

2018年3月期 (提出会社個別)

(単位: 百万円)

	第1四半期 2017年4月～6月	第2四半期 2017年7月～9月	第3四半期 2017年10月～12月	第4四半期 2018年1月～3月	通算 2017年4月～2018年3月
売上高	10,693	11,745	11,572	12,675	46,687
売上総利益	4,104	4,076	4,594	3,935	16,711
営業利益	1,420	1,315	1,789	1,166	5,692
経常利益	2,730	2,177	2,195	3,050	10,154
税金等調整前当期純利益	2,746	2,164	2,192	3,062	10,166
当期純利益	2,059	1,623	1,644	2,435	7,764
総資産	102,901	107,966	107,788	114,643	—
純資産	75,402	79,467	81,036	81,751	—

2017年3月期 (提出会社個別)

(単位: 百万円)

	第1四半期 2016年4月～6月	第2四半期 2016年7月～9月	第3四半期 2016年10月～12月	第4四半期 2017年1月～3月	通算 2016年4月～2017年3月
売上高	9,966	10,732	10,702	11,985	43,387
売上総利益	3,972	4,080	4,354	4,293	16,701
営業利益	1,283	1,232	1,568	1,342	5,426
経常利益	1,968	1,793	2,356	2,575	8,694
税金等調整前当期純利益	1,945	1,758	2,400	3,858	9,963
当期純利益	1,459	1,318	1,800	2,894	7,473
総資産	93,498	97,280	97,919	102,012	—
純資産	68,849	71,302	70,880	73,230	—

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を適用前の数値です。